

◆企画名	ふだんの暮らしから備える学生防災～学んで備えて、つながる未来～
日程	2025年12月15日(月) 16:20～17:50
場所	関西大学千里山キャンパス総合図書館1階ワークショップエリア
参加者数	15名(うち、ピアサポーター7名・研修生5名・一般学生3名)

## 目的

遠方から通う関大生や一人暮らしの関大生をターゲットに、災害が起きた場合への対応を知ってもらい、防災への意識を高めてもらうこと。また、実際に防災グッズに触れてもらうことで、その内容や使い方を理解してもらい、自身で災害に備える際のハードルを下げることを目的とした。

## 内容

- ・導入 講師の紹介と本講座の目的説明
- ・座学(約40分)
  - ↳災害が起きたときのリスク、危険な場所、身の守り方、自分発電機の紹介、防災グッズ、防災レシピの紹介
- ・ワークショップ(約40分)
  - ↳防災グッズの体験、講師によるグッズの紹介と実践、学生同士の交流
- ・まとめ

講師からのまとめ、アンケートの回収

## 効果

楽しい雰囲気の中防災について学べた。特に防災について深く考え学ぶ中で、地震に備えようと思うきっかけ作りや、ハードルを下げるのが出来たのは良い結果だったと思う。また、ワークショップでの交流を通して実際にグッズを使う感覚を理解できたことも、自ら防災に興味を持ってもらうための良い第一歩だったと感じる。

また、グループ内でのコミュニケーションも活発に行われ、学生同士の交流を後押しできた。普段ある物が防災に使えると言う観点は、親しみやすさ、取りかかりやすさ共に非常に良い着眼点だった。

## 改善点

第一に、集客が思うように行かなかった。内容が堅いため、参加の心理的ハードルを下げるための集客方法を考えなければならなかった。ポスター、Instagramだけでなく、口頭での宣伝をするなど工夫していきたい。

また、本番で巻いた時間をうまく使うことができなかったのも反省点だった。さらに、一部初心者向けでない内容が含まれており、趣旨に立ち返る時間が必要だった。先方との打ち合わせの際、より綿密な擦り合わせを行う必要があると感じたため、改善していきたい。

## 感想

終始和やかな雰囲気ですりやすく進められた点は良かったと感じる。ワークショップにおいては参加者同士の交流も活発で、コミュニケーションとしての価値は大きかった。その一方で、やはり集客に難があった点と、巻いた時間をうまく使えなかった等は課題として残る。

